

11・24放射能汚染水を止めろ！

官邸前行動

「さようなら原発 1000 万人アクション」は、政府・東京電力が 8 月 24 日に福島第一原発の放射能汚染水の海洋放出を強行したことに対して、向こう 1 年間にわたり毎月 24 日に抗議の行動を行うことになりました。今月も 24 日に抗議行動を行います。

この間東京電力は、放出から 2 か月足らずの 10 月 25 日に、汚染水を処理する多核種除去設備（ALPS）の配管洗浄作業中にホースが外れ、作業員 5 人が放射性物質を含む洗浄水を浴びて 2 人が入院する事故を起こしました。

入院した 2 人の作業員は、着用が義務づけられていたカップを着けていなかったことが明らかになりました。また、当初「100 ミリリットル程度」と説明されていた飛散が、「数リットル飛散」と訂正し、入院した作業員を「1 次下請け」と説明していましたが、「3 次下請け」であることが判明するなど、緊張感の欠如と管理体制の不備が露わとなりました。

これには、11 月 1 日の原子力規制委員会の定例会合で石渡明委員が「説明が変わるたびに数字が大きくなる」と不信感をあらわにしました。この調子で 30 年間にわたり、「安心・安全」な作業を果たせていけるのか極めて懸念されます。

長期に渡る海洋放出は、海洋の生態系にどんな影響を与えるのかは未知数で、現に長期に渡る環境影響評価はなされていません。燃料デブリを通過する汚染水には、トリチウムだけでなく 60 種を超える核種が含まれています。中には半減期の長いものも含まれ、通常原発からの放出と異なっています。また、どれだけの放射能を放出するのかの総量も明確になっていません。そのような現状の中で安易に「安全幻想」を振りまき、海洋放出を正当化するのはあまりにも無責任です。

「さようなら原発」の取り組みにご協力ください。



日 時 11 月 24 日（金） 18 : 30 ~ 19 : 30

集合場所 首相官邸前

呼びかけ さようなら原発 1000 万人アクション実行委員会

連絡先 03 - 5289 - 8224